

～安全な雪下ろし作業「8つのポイント」～

- ① 気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意！
- ② ヘルメットを着用し安全な服装で作業しましょう！
- ③ 転落防止のため命綱を使いましょう！
- ④ はしごはしっかり固定しましょう！（足元も先端も。角度は75度に）
- ⑤ 使いやすい除雪道具を使いましょう！
- ⑥ 2人以上で作業しましょう！（携帯電話も持ちましょう）
- ⑦ 無理な作業はやめましょう！（準備運動を忘れずに。休憩をとりながら）
- ⑧ 足場はいつも注意！（軒先は危険です。足場は慎重に）

安全な雪下ろし作業例



屋根からの落雪に注意

- 雪下ろしの際だけでなく、家の周りの除雪作業中にも、屋根からの落雪に注意してください。また、歩行中も建物からの落雪に気を付けましょう。
- 暖かい日は屋根の雪が緩みやすいので、特に注意が必要です。雪融け水や雪が動く音に注意しましょう。

除雪機の事故に注意

- 除雪機の事故防止のため、次のことに注意してください。
- 除雪機は普段から手入れをしましょう。
- 除雪機の使用前には、安全装置が動くことを確認してから行いましょう。
- 雪詰まりのときは、エンジンを切ってローターの回転が止まったことを確認し、雪かき棒などを使って詰まった雪を取り除きましょう。
- 転倒したりしないように、足元に注意しましょう。



避難経路の確認を

- 冬期間、多くのご家庭で雪囲いをしています。万が一火災が発生した場合、積雪や雪囲いが避難の障害となる場合があります。ご自宅の周りをもう一度確認し、2カ所以上の避難経路の確保や避難口の除雪をしましょう。
- 暖房器具やボイラーの排気口が雪でふさがれないように注意しましょう。

灯油の流出に注意

- 冬は暖房器具の使用により、灯油を使う機会が増えます。油流出事故が起こらないように注意してください。
- ホームタンクから灯油を小分けするときには、その場を離れないようにしましょう。油漏れを未然に防止するため、ホームタンクの定期点検を行いましょう。
- 屋根からの落雪により暖房器具への給油管が壊れてしまったり、除雪の時に雪に隠れた給油管を気付かずに壊してしまうケースが見受けられます。給油管の保護や目印をつけるなど、破損の防止に努めましょう。

雪への準備・心構えは万全ですか?!

ヘルメット
あごひもを締めよう

防寒性 ゴム手袋

安全帯
幅広で締まらないもの

ゴム長靴
すべりにくい

これが雪下ろし作業の安全な服装です

動きやすい服装
厚着はダメ!

転落防止 必須アイテム

命綱
すべりにくくゆるみにくい

1月10日(金)から2月9日(日)は、「**雪害事故防止強化月間**」です。
雪による事故被害の原因でもっとも多いのは、自宅など建物の屋根の雪下ろし作業中の事故で、特に高齢者の方が事故に遭うケースが多くなっています。
次のポイントに注意して、雪下ろし作業は安全に行いましょう。